



©2003 H.F.C



©1996 H.F.C

## 大歓声に揺れるスタジアム 日本一温かいサポーターが後押し

平成八年、北海道初のプロサッカーチームとして誕生した「コンサドーレ札幌」。今年で八シーズン目を迎え、今や北海道のスポーツ界の顔として、広く道民に定着しています。

この八年、北海道に根差したコンサドーレが全国を舞台に活躍することで、スポーツを観戦する機会が増えただけ

でなく、街にはみんなが心を合わせて応援することによる一体感がはぐくまれてきました。その「結晶」ともいえるのが、相手チームの選手を含めて「日本一温かい」と絶賛される札幌のサポーターではないでしょうか。

五月五日、厚別公園競技場で行われた「川崎フロンターレ」との試合でも、観客席は、コンサドーレの熱狂的なサポーターでいっぱい。この日はこどもの日ということもあり、チームカラーの赤と黒のユニフォームに身を包んだチビっ子サポーターも数多く見掛けました。東区から親子で観戦に来ていた男性会社員は、「スタンドを揺るがす、この大声援が最高！ここで、子供も大人も関係なく、お祭りのような気分が味わえ

※サポーター サッカーなどである特定チームを熱烈に応援する人。野球というファン。ます」と興奮気味に語りま

白熱した試合は、一進一退の攻防を繰り返して、道内出身の新居辰基選手が強烈なシュートを放つなど何度か見せ場を作るものの、0対0の引き分けに終わりました。今季はけが人が多くなかなか波に乗れないコンサドーレですが、試合後も、その評判通り、サポーターが選手たちに惜しめない拍手を送っていたのが印象的でした。

### コンサドーレ札幌 8年の歩み

平成8年	JFL	東芝サッカー部を母体にコンサドーレ札幌誕生
平成9年	JFL	フェルナンデス監督の下、バルデス、マラドーナ中心の攻撃的サッカーで、JFL優勝。J昇格
平成10年	J	Jの壁は厚く、J2降格
平成11年	J2	監督に元日本代表監督の岡田武史氏就任
平成12年	J2	岡田監督の下、エメルソンの活躍でJ2優勝。J1昇格
平成13年	J1	札幌ドーム完成、観客数33万人と過去最高を記録。年間総合順位11位
平成14年	J1	元日本代表の柱谷哲二氏監督就任。成績不振で途中解任。J2へ降格
平成15年	J2	ジョアン・カルロス監督の下、J1昇格に向けまい進中

平成5年に10チームで始まったJリーグ。コンサドーレ札幌は、下部組織のJFL(日本フットボールリーグ)からのスタートでした。平成11年からJリーグはJ1、J2の2部制になっています



©1996 H.F.C

## サッカーを通じて夢をはぐくむ 地域密着のチームづくりを目指す

コンサドーレでは、従来の学校の運動部活動や企業スポーツなどとは違った、底辺からトップチームまでつながる

地域密着型のチームづくりを目指し、将来を担う十八歳以下の選手の育成にも力を入れています。



©2003 H.F.C

ボールをキープする2年目の新居選手。コンサドーレ札幌ユースからトップチームへ昇格した選手です